



Cisco IMC Visore ユーティリティ

Visore は、HTML ブラウザを使用して管理対象オブジェクト (MO) を簡単に参照できる、Cisco IMC に構築されたユーティリティです。Visore ユーティリティは、Cisco IMC XML API クエリーメソッドを使用して Cisco IMC のアクティブな MO を参照します。Visore ユーティリティは、設定を行うためには使用できません。

Visore へのアクセス

Visore にアクセスするには、ブラウザを開き、次のいずれかの URL を入力します。

- <http://<Cisco IMC IP Address>/visore.html>
- <https://<Cisco IMC IP Address>/visore.html>

プロンプトが表示されたら、Cisco IMC CLI または GUI ユーザ インターフェイスへのログインと同じクレデンシャルを使用してログインします。



(注) Cisco IMC リリース 1.5(1x) では、Visore アクセスに Firefox および Chrome のブラウザだけがサポートされます。

クラス照会での Visore の使用

特定のクラスを照会するには、クラス名を [Class or DN] フィールドに入力し、[Run Query] をクリックします。Visore は **configResolveClass** メソッドを Cisco IMC に送信し、要求された MO が表形式で表示されます。

表示された MO の親および子クラスを取得するには、[<] および [>] ボタンを使用します。たとえば、[>] をクリックすると、MO の子を照会するために **configResolveChildren** メソッドが Cisco IMC に送信されます。[<] をクリックすると、MO の親を照会するために **configResolveParent** メソッドが Cisco IMC に送信されます。

識別名 (DN) を照会するための Visore の使用

特定の DN を照会するには、DN を [Class or DN] フィールドに入力し、[Run Query] をクリックします。Visore は **configResolveDn** メソッドを Cisco IMC に送信します。

